

教 科 目

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2単位	履修形態	必修・選択	
履修学年	高校3年 ICT科	コース	特進コース			
教科書	LANDMARK English Communication Ⅱ (啓林館)	副教材	予習ノート、ワークブック 英検問題集、全商英検問題集			
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定2級・準2級や、全商英検1級・2級の取得を目指す。					
授業内容	単 元	目 標		教 材		
および 到達目標	1 学 期	Lesson 7 ~Lesson 8 英検対策	硫黄島の戦い、江戸時代のサイクル社会について理解を深める。 複合関係詞、独立分詞構文を理解し使うことができる。 2級・準2級の取得を目指す。		LANDMARK 英検問題集	
	2 学 期	Lesson 9 ~ Reading 2 全商英検対策	フェルメール絵画、プータン、オバマ大統領について理解を深める。 仮定法、助動詞+完了形、強調構文を理解し使うことができる。 1級・2級の取得を目指す。		LANDMAEK 全商英検問題集	
	3 学 期	まとめ、実践演習	高校英語のまとめと、実践的な演習に活かすことができる。		新聞、インターネット等	

教 科 英 語 科 目 コミュニケーション英語Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	推薦進学コース		
教科書	LANDMARK English Communication II (啓林館)	副教材	予習ノート、ワークブック 英検問題集、全商英検問題集		
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英検 1 級・2 級の取得を目指す。				
授業内容	単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学 期	Lesson 7 ～Lesson 8 英検対策	硫黄島の戦い、江戸時代のサイクル社会について理解を深める。 複合関係詞、独立分詞構文を理解し使うことができる。 2 級・準 2 級の取得を目指す。		LANDMARK 英検問題集
	2 学 期	Lesson 9 ～ Reading 2 全商英検対策	フェルメール絵画、ブータン、オバマ大統領について理解を深める。 仮定法、助動詞＋完了形、強調構文を理解し使うことができる。 1 級・2 級の取得を目指す。		LANDMAEK 全商英検問題集
	3 学 期	まとめ、実践演習	高校英語のまとめと、実践的な演習に活かすことができる。		新聞、インターネット等

教科 英語

科目 コミュニケーション英語Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	ビジネスコース		
教科書	LADMARK English Communication II TREASURE HUNT	副教材	予習サブノート・ワークブック 英検問題集		
授業概要	<p>コミュニケーション英語Ⅰで学習した文法や表現をふまえ、コミュニケーション英語Ⅱで発展した文法・表現を理解し運用する力を身に付ける。</p> <p>語彙の幅を広げ、まとまった英文の内容を把握していく。</p> <p>英語を通して国際社会・地球環境に目を向け世界観を広げる。</p> <p>幅広い話題について、積極的にコミュニケーションを図り、自分の意見を英語で書いたり話したりして伝えていく。2年次に取得したSTEP英検・全商英検から、さらに上級の取得を目指す。</p>				
授業内容	単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> Lesson7,8 	<ul style="list-style-type: none"> 譲歩を表す複合関係詞 動名詞の意味上の主語 注意すべき関係代名詞の非限定用法 独立分詞構文 STEP 英検受験 		LANDMARK 英検問題集
	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 9,10 Unit1 Unit2 Unit3,4 	<ul style="list-style-type: none"> as if[though]+仮定法 文の種類の確認 語の推測/イディオム 時制 情報の読み取り 現在完了 		LANDMARK TREASURE HUNT 英検問題集
	学 年 末	<ul style="list-style-type: none"> Unit5 Romeo and Juliet 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の読み取り 助動詞 Speech contest による、英語独特のリズムに気をつけ、表現力をつける。 		TREASURE HUNT 資料

教 科 英 語 科 目 英 語 表 現 I

授業科目	英語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	ビジネスコース		
教科書	MY WAY English Expression I (三省堂)	副教材	FOREST 英検問題集、全商英検問題集 リスニング教材、総合演習教材		
授業概要	<p>基本的な文法や表現を理解し、聞いたり読んだりする能力を養う。また、既習の文法や表現を使い英語で表現する能力を養う。</p> <p>実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英語検定 1 級・2 級の取得を目指す。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	Lesson21 ～Lesson 25 実用英検対策	仮定法過去、仮定法過去完了を理解し使うことができる。 部分否定、準否定語を知り理解することができる。 直接話法と時制の一致について知り、伝達することができる。 接続詞を知り、語句と語句、文と文をつなげることができる。		MY WAY FOREST 新聞、インターネット等 実用英検問題集
	2 学 期	全商英検対策 総合英語演習	3 級、2 級の取得を目指す。 総合問題集を使い、リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングを通じ、英文の内容を読み取ることができる。		全商英検問題集 リスニング教材 FOREST 新聞、インターネット等
	3 学 期	総合英語演習 実践演習	総合問題集を使い、リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングを通じ、英文の内容を読み取ることができる。 実生活の中から様々な英語に触れる。		リスニング教材 FOREST 新聞、インターネット等

教科 家庭 科目 家庭基礎

授業科目	家庭基礎	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書	家庭基礎「明日の生活を築く」 (開隆堂)	副教材	生活学・Navi・ —資料+成分表— (実教出版)		
授業概要	家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中で捉え、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	青年期の自立と家族・ 家庭 青年期の自立 家族・家庭を考える	<ol style="list-style-type: none"> 青年期の自立 <ul style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。 生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任をもって行動することが重要であることを理解する。 家族・家庭を考える <ul style="list-style-type: none"> 現在の家族、家庭における課題に気づき、その課題について、調査し、資料を収集する。 家族、家庭について考え、家族の現状やこれからの求められる家族の機能について理解する。 	教科書 プリント	
		高齢期の生活 高齢期の生活と課題 高齢社会を生きる	<ol style="list-style-type: none"> 高齢者の生活と課題 <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの人びとに視野を広げ、高齢期の身体的および心理的特徴、現状の課題について考える。 高齢者と実際にふれ合い、話すなど高齢者とかかわることができる。 高齢社会を生きる <ul style="list-style-type: none"> 超高齢社会を迎えている現状と課題について理解し、対策を考える。 	教科書 プリント	
		消費者市民として生 きる 持続可能な消費	調理実習に向けて、洗剤と環境の関係を理解する。(アクリルタワシの作製)	毛糸 かぎ針	
	2 学期	食べる 食生活の課題 食品と栄養素 食事を整える	<ol style="list-style-type: none"> 食生活の課題 <ul style="list-style-type: none"> 食生活について考えを深め、食事の重要性について考える。 環境に配慮した食生活について考える。 食品と栄養 <ul style="list-style-type: none"> 中学校での学習を踏まえ、青年期と家族の各ライフステージの栄養的な特徴について理解する。 食事を調える <ul style="list-style-type: none"> 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を立てることができる。 目的を明確にした調理実習を行い、調理技術を習得する。 	教科書 プリント	
		3 学期	住まう さまざまな住まいと暮らし方	<ol style="list-style-type: none"> さまざまな住まいと暮らし方 <ul style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点で、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択を考える。 	教科書 プリント
	子どもの発達と保育 子どもの発達と生活		<ol style="list-style-type: none"> 子どもの発達と生活 <ul style="list-style-type: none"> 子どもがどのように発達するか、どのように生活習慣が身につくか理解し、子どもの健全な発達を支える親や周りのおとなの役割について考える。 	教科書 プリント	

教 科 芸 術 科 目 音 楽

授業科目	音楽	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	I C T 科		
教科書	音楽之友社		副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の諸活動を通して、音楽の基本的な知識・技能を習得したり、しなやかな感性と豊かな心を育てる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標		教材	
1 学 期	青春と音楽	音楽の楽しさを味わうとともに技能を高め、個性豊かな表現を目指す。		美女と野獣 涙そうそう	
	器楽	基礎的なギターの奏法を覚え、その特徴を生かした表現の良さを味わう。		ギター教則本	
	合唱	歌詞の内容からイメージをもって歌い、パートの役割を理解しながら表現する。		心の瞳	
2 学 期	言葉と音楽	歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身に付け、イメージをもって表現したり、楽曲の価値を理解する。		帰れソレントへ Ombra mai fu	
	楽典	コードの種類を覚え、和音の織りなす美しさを味わう。		おおシャンゼリゼ	
	アンサンブル	リズムアンサンブルを通して、他者とのアンサンブルを楽しむ。		野菜の気持ち	
3 学 期	民族と音楽（1） 日本のこころ	音楽の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。		椰子の実 早春賦	
	民族と音楽（2） 世界の旅	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかかわらせて理解し、その良さを味わう。		コンドルは飛んで行く ウィーンわが夢の街	
	人間と音楽	音楽の諸活動を通して、様々な形態の合唱音楽を体験し、その表現方法や良さを理解する。		別れの歌 主よ、人の望みの喜びよ	

教 科 美 術 科 目 美 術 I

授業科目	芸術選択	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	全コース		
教科書	美術 I		副教材		
授業概要	美術作品制作や鑑賞を通して、美術に対する興味・関心を高める。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	・美術との出会い	・発見や感動の大切さを再認識し、授業に対する興味・関心をさらに高める。	教科書	
		・鉛筆デッサン	・ものの見方や感じ方を深め、対象の形や材質の特徴を鉛筆で表現する。	自画像	
	2 学 期	・自己を描く	・内面を見つめながら、自分の姿を捉えて自画像に表すことができる。	アクリル絵の具	
	3 学 期	・ポスター	・テーマにふさわしい表現方法や図柄を考え、ポスターをデザインする。	アクリル絵の具	
・世界の美術		・各国の世界遺産の歴史や美術価値を理解し、それらに対する興味・関心を深め、視野を広げる。	教科書		

教科 芸術

科目 書道 I

授業科目	芸選 書道	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	書道 1 東京書籍		副教材		
授業概要	書道の諸活動を通して書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力と態度を育てるとともに書を愛好する心情を養う。				
授業内容 および 到達目標	1 学 期	単元 ・ 漢字 〔隸書・篆書〕 ・ 仮名	目標 ・ 隸書の基本点画（波磔）を学ぶ ・ 草書の用筆運筆法と字形の取り方を理解する ・ 隸書・草書・臨書を通じて表現の多様さを体得する ・ 2 年次の復習		教科書 4～25P ・ 竹簡 ・ 木簡 ・ 曹全碑 ・ 乙瑛碑 ・ 真草千字文
	2 学 期	・ 仮名	・ 古筆の理解 ・ 構成美の理解		教科書 48～59P ・ 関戸本古今集 ・ 寸松庵色紙 ・ 升色紙 ・ 継色紙
		・ 漢字仮名交じりの書	・ 書風と墨色の変化を理解する ・ 古典・古筆の倣書をする ・ 漢字と仮名の調和を図る		教科書 60～69P
	3 学 期	・ 実用書 細字 般若心経 ・ まとめ	・ 楷書・行書・草書の三体を知る ・ 縦書き横書きのまとめ方 ・ 書の変遷を理解する		資料による (書道史年表)

教科 国語

科目 国語表現（高3）

授業科目	国語表現Ⅱ	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書	なし		副教材	チェック&ワーク クローズアップ現代	
授業概要	日本語を的確に表現するための技術を磨く。 自分の意見をもつために、現代の様々な事柄についての理解をより深める。				
授業内容 および 到達目標	単元	目 標		教 材	
1 学 期	現代の課題	教育・福祉・政治経済などの、現代の問題について、問題意識を持ちながら知識を深める。			
	漢字検定	小論文などを書くにあたって、語彙を増やす		漢検問題集	
	小論文添削	グラフを読み取り小論文を書く。 志望理由書・自己PR文		小論文添削	
2 学 期	現代の課題	情報・科学技術などの、現代の問題について、問題意識を持ちながら知識を深める。			
	自分史	自分の生い立ちを知る。 18年間を振り返り、社会人になっていく自分の心構えを作る。		国語科作成 ワークシート	
3 学 期					

教科 国語

科目 現代文 A

授業科目	現代文 A	単位数	2 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	現代文 A (大修館)	副教材	新総合図説国語 準拠学習ノート (大修館)		
授業概要	近代以降の様々なジャンルの文章を読み味わう能力をさらに高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方をより深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	小説に親しむ	登場人物の心情の移り変わりや情景描写に注目しながら、作品の主題を読みとる。 自分の生き方を見つめ直す	山月記	
		漢字検定	漢字検定 弱点分野の克服	漢検問題集	
		ことばと文化	言語文化の特質や文化との関係について理解する	排球、そして千利休 敬語への自覚、他者への自覚	
	2 学 期	漱石・鴎外の世界	場面展開を的確に読み取り、主題に迫る それぞれが持っている自我 (我執) について考える機会を提供する	こころ	
		現代を考える	進んで読書し、自らの読書生活を豊かにしていく態度を養う。 検索時代の利点と問題点を理解する。	検索時代における読書	
	3 学 期	詩歌を味わう	日本伝統の韻文の特色を理解し、鑑賞する態度や方法を学ぶ	小諸なる古城のほとり 他 百人一首	

教科 社会 (公民)

科目 時事研究

授業科目	時事研究	単位数	2単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書	実教出版 新版 現代社会	副教材	最新現代社会資料集(第一学習社) 新聞・ニュース時事検定など		
授業概要	教科書・資料集・新聞などを題材にして、国内外の政治・経済における問題点、また世の中の中の動向について研究する。また、時事問題に興味を持たせ、作文や小論文の題材としても対応できる知識を身に付ける				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	新聞記事などを題材にして、社会全体に興味を持たせる。また、自分の意見を持たせるとともに、電子メールの提出に対応させる。		新聞 資料集	
		新聞記事などを題材にして、社会全体に興味を持たせる。国内国際状況を把握させ、自分の意見を持たせる。		新聞 資料集	
	2 学 期	新聞記事などを題材にして、社会全体に興味を持たせる。また、自分の意見を持たせるとともに、電子メールの提出に対応させる。		新聞 資料集	
	3 学 期	新聞記事などを題材にして、社会全体に興味を持たせる。また、自分の意見を持たせるとともに、電子メールの提出に対応させる。		新聞 資料集	

教 科 社会(地歴)

科 目 日本史A

授業科目	日本史 A	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	東京書籍 日本史 A 現代からの歴史	副教材	ワーク		
授業概要	この授業を通して、幕末から現代までの大まかな歴史の流れを理解する。また、様々な資料をもとに日本の歴史を多角的・多面的に把握できるようにする。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	第 1 章から第 2 章 2.立憲体制の成立	幕末(ペリー来航)から大日本国憲法成立までの流れを把握する。 またこの時代における歴史的事象の時代背景もとらえる。		教科書など
	2 学 期	第 2 章 2.立憲体制の成立から 第 3 章 4.太平洋戦争と日本	大日本帝国が成立してから終戦までの流れを理解し、大戦景気から戦争の長期化により経済が悪化していった社会の様子を考察する。		教科書など
	3 学 期	第 4 章	終戦、朝鮮戦争、高度経済成長を経て、日本がどのように立ち直っていったのか。また、日本の今後の課題を考察する。		教科書など

教 科 商 業

科 目 課 題 研 究

授業科目	課題研究	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	3 年 ICT科	コース	特進コース		
教科書			副教材	まなびやマニュアル 現代社会資料集（第一学習社） 模擬問題集	
授業概要	小論文研究・ビジネス研究（まなびや研究） ビジネス文書研究・情報処理研究・商業経済研究				
授業内容		単 元	目 標	教 材	
および 到達目標	1 学 期	ビジネス文書研究 小論文研究 ビジネスマナー研究	表の挿入・図の挿入・センタリングの方法・ 機械・機械操作について・文書の種類・作 成・プレゼンテーションについて・ことば の知識 全商ビジネス文書検定にチャレンジする。 社会問題研究・志望動機制作・進路先の 研究・将来の自分像制作 小論文の模擬にチャレンジする。 働くということ・ビジネスマナー・コミュ ニケーションスキルについて 全商ビジネスコミュニケーション検定にチ ャレンジする。	過去問題 模擬問題 模擬問題 副教材 模擬問題 外部講師に よる講義	
	2 学 期	小論文研究 情報処理研究	社会問題研究（環境問題・高齢化社会・女 性問題・経済問題） 大学研究（志望動機） ビジネス情報研究・表計算ソフトとデータ ベースについて理解・プログラミングの習 得	現代社会資 料集 模擬問題	
	3 学 期	ビジネス研究 （まなびや研究）	HP 作成（まなびやページ作成） 出店依頼（第 19 回企業出店説明会の企画） アグリコム（ブース出展） ビジネスマッチング（ブース出展） 報告会 まなびやの引き継ぎ	まなびやマ ニュアル	

教 科 商 業

科 目 課 題 研 究

授業科目	課題研究	単位数	4単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	推薦進学コース		
教科書	なし		副教材		
授業概要	日商簿記2級やビジネスコミュニケーション、表計算、ビジネス文書、商業経済検定などの資格取得を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	ビジネスコミュニケーション	挨拶やビジネスマナーを身につける。 面接対策としてビジネスマナーの実践ができたか。		実教出版ビジネス コミュニケーション 検定テキスト
		日商簿記	日商簿記2級を取得する事を目標とする。 商業簿記、工業簿記ともに理解するようにさせる。		過去問題 模擬問題
	2 学 期	表計算	表計算ソフトを活用し、エクセルのデータ編集を行う事ができる。また、入力したデータからグラフなどを作成し分析する。		表計算模擬 問題集
		ビジネス文書	ビジネス文書取得に向け、タイピングの速度を上げる。 また、文書作成においては文字校正記号を理解し文書を作成する事ができるようにさせる。		実教出版ビ ジネス文書 実務検定模 擬試験問題 集
	3 学 期	商業経済	ビジネス経済B部門、マーケティング部門の2部門の合格を目指す。 市場調査の方法や、販売戦略などの知識を学び商業経済検定1級の合格を目指します。		実教出版商 業経済検定 模擬試験問 題集

教 科 商 業

科 目 簿 記 演 習

授業科目	簿記演習	単位数	2単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	
履修学年	高校3年 ICT科	コース	推薦進学コース			
教科書	なし		副教材			
授業概要	<p>日商簿記2級や、全商簿記1級の資格取得を目標としている。</p> <p>主には貸借対照表や損益計算書、連結財務諸表の作成に力を入れ授業を展開する。</p>					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材	
	1 学 期	工業簿記の基礎	<p>工業簿記の基礎を理解し、材料、労務費、経費などの費目別の計算を的確に行う。</p> <p>工業簿記の流れを理解し、正確に流れ図を書くことができるようにさせる。</p>			
		企業会計 資産 負債 純資産	<p>1年基準を理解した上で、流動性のものか、長期性のものか理解する事ができているか。</p> <p>各勘定科目を資産や負債に分類を正しくわけることができるか。</p>			
	2 学 期	貸借対照表の作成 損益計算書の作成 財務諸表分析	<p>決算整理仕訳を理解し、貸借対照表、損益計算書を作成させる。</p> <p>財務諸表分析では、財政状態や経営成績の良否を的確に判断できるようにさせる。</p>			
3 学 期	連結財務諸表	<p>連結の範囲の理解をすること。子会社の資産および負債の時価評価の仕訳や、連結決算の手続きから、連結貸借対照表、連結損益計算書を作成する。</p>				

教 科 商 業

科 目 簿記演習

授業科目	簿記演習	単位数	2単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	ビジネスコース		
教科書			副教材	日商・全商各種問題集	
授業概要	<p>日商簿記3・2級や、全商簿記1級の資格取得を目標としている。</p> <p>主には貸借対照表や損益計算書、連結財務諸表の作成に力を入れ授業を展開する。</p>				
授業内容	単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	簿記の基礎	商業簿記の基礎を理解し、試算表・財務諸表補助簿・伝票を正確に作成できるようにする		
	2 学 期	企業会計 資産 負債 純資産	1年基準を理解した上で、流動性のものか、長期性のものか理解する事ができているか。各勘定科目を資産や負債に分類を正しくわけることができるか。		
		貸借対照表の作成 損益計算書の作成 財務諸表分析	決算整理仕訳を理解し、貸借対照表、損益計算書を作成させる。 財務諸表分析では、財政状態や経営成績の良否を的確に判断できるようにさせる。		
3 学 期	連結財務諸表	連結の範囲の理解をすること。子会社の資産および負債の時価評価の仕訳や、連結決算の手続きから、連結貸借対照表、連結損益計算書を作成する。			

教 科 商 業

科 目 課 題 研 究

授業科目	課題研究	単位数	4単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
履修学年	3年	コース	ビジネスコース		
教科書	なし		副教材		
授業概要	日商簿記3級または2級やビジネスコミュニケーション、表計算、ワープロ、コンピュータ会計検定などの資格取得を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	日商簿記	日商簿記3級または2級を取得する事为目标とする。 商業簿記、工業簿記ともに理解するようにさせる。		過去問題 模擬問題	
	コンピュータ会計初級	コンピュータ会計ソフトを使用しデータから正しい会計情報を導く。そして財務諸表から経営分析		過去問題使用	
	ビジネスコミュニケーション	挨拶やビジネスマナーを身につける。 面接対策としてビジネスマナーの実践ができたか。		実教出版ビジネス コミュニケーション 検定テキスト	
2 学 期	表計算	表計算ソフトを活用し、エクセルのデータ編集を行う事ができる。また、入力したデータからグラフなどを作成し分析する。		表計算模擬 問題集	
	ワープロ	ワープロ検定取得に向け、タイピングの速度を上げる。 また、文書作成においては文字校正記号を理解し文書を作成する事ができるようにさせる。		ワープロ検 定模擬試験 問題集	
2 学 期	コンピュータ会計3級	コンピュータ会計ソフトを使用しデータから正しい会計情報を導く。そして財務諸表から経営分析		過去問題使用	
3 学 期	コンピュータ会計の復習	コンピュータ会計ソフトを使用しデータから正しい会計情報を導く。そして財務諸表から経営分析		過去問題使用	

教 科 商 業

科 目 まなびや研究

授業科目	まなびや研究	単位数	2単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書	なし		副教材	まなびやマニュアル	
授業概要	<p>『高校生が運営するオンラインショッピングモールまなびや』の運営を行う授業である。担当企業様に連絡を取り、商品や広告の情報を提供していただきページを作成する。また、担当企業様とコラボレーションをして新商品の開発にも力を入れている。</p> <p>また、参加企業を増やすために、飛び込み営業に行き説明会を開催し、1年間の活動を報告する報告会を行う授業である。</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	はじめてのまなびや	お客様と企業様とをつなぐ役割という事を認識し、信頼関係を大切にする。 ビジネスマナーの徹底。 制服の着こなし、挨拶を身につける。	まなびや マニュアル	
		新規企業開拓	まなびやに加入していない企業を対象に説明会を開催する。 実践的な営業活動を通じてビジネスマナーの向上を目指す。	まなびや マニュアル	
	2 学 期	新商品登録 営業活動	月に1回担当企業様に訪問し新商品の情報やニュースがないか打合せを行う。実践からビジネスマナーを身につける。	まなびや マニュアル	
		報告会	1年間の活動を参加企業に対して報告しプレゼンテーション能力や実践的な活動を通じ、おもてなしの心を学ぶ。	まなびや マニュアル	
		しんきんフェア	信用金庫が主催するしんきんフェアに参加する。企業と商談をし、実社会で通用する力を身につける。	まなびや マニュアル	
	3 学 期	引継ぎ	業務内容を後輩へ引き継ぎ。 担当企業様への挨拶。	まなびや マニュアル	

教 科 数 学

科 目 数 学 演 習

授業科目	数学演習		単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 ICT科		コース	全コース		
教科書	東京書籍 数学A		副教材	ニュースコープ数A (東書) 練習ドリル数A (数研) プリント		
授業概要	1学期では整数、2学期以降では微分、積分について学習します。3学期は面積の難しい問題を勉強します。					
授業内容		単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学 期	整数の性質	2元1次方程式を解くことができる。またその際、ユークリッドの互助法を活用できる。			ニュースコープ 練習ドリル
	2 学 期	微分 定積分	3次関数のグラフを描けるようになる。 積分は微分の逆演算であることを理解し、細かい計算ができる。			プリント
	3 学 期	面積の難しい問題	少し複雑な面積の問題に取り組む。			プリント

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	3単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	ICT科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			

教 科 理 科 科 目 科学と人間生活

授業科目	科学と人間生活	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	3 年	コース	ICT 科		
教科書	第一学習社 改訂科学と人間生活	副教材	ネオパルノート科学と人間生活		
授業概要	生物、化学、物理、地学の 4 分野について学習し、人間生活の中でそれらの分野の知識がどのように活用されているかを学ぶことができます。				
授業内容		単 元	目 標	教 材	
および 到達目標	1	微生物とその応用	身近に存在する微生物について学びます。微生物と医療との関わりや食品生産の応用方法、有用物質の製造について学びます。	微生物	
	2	医療と食品 光の性質とその利用	食品中に含まれる成分の構造や性質について理解する。光の性質を理解し、その利用方法について学ぶ。	五大栄養素 光	
	3	身近な天体と太陽系における地球	太陽系を構成する天体について学ぶ。地球と太陽系の天体との関係について理解を深める。	太陽系の天体	